

柔道しずおか

令和6年3月 静岡県柔道協会発行

事務局 〒422-8004 静岡市駿河区国吉田5-1-1 公益財団法人 静岡県体育協会内 静岡県柔道協会事務局

TEL 090-1832-9084 FAX 055-988-3611

メール shizuokajudo5803@yahoo.co.jp

【巻頭言】

2024しずおか 甲子年の一年

静岡県柔道協会副会長 七段 間 宮 幸 男



柔道協会の皆様、新たな年が始まり、ますますのご発展とご繁栄をお祈り申し上げます。

健康と安全が皆様にとって確かなものでありますように。どうぞ素晴らしい一年をお過ごしください。

近年スポーツ界は、新型コロナウイルス感染症は、今なお、様々な影響を及ぼしているものの、各大会も開催することができ、新たな生活様式も定着しつつ、再び盛り上がることを期待しています。

さて、静岡県の柔道界は、3月に開催された全国高校選手権大会にて、藤枝順心高校の牧園羽菜選手が48kg級で優勝、東海大静岡翔洋高校の永田りん子選手も63kg級3位に入賞しました。また、6月にフランスで開催されたグローバルゲームズでは、しずはたスポーツクラブ所属の山崎真江選手が優勝し、8月に開催された全国高校総体で

は、静岡学園高校の沖山智選手が100kg級で3位に入賞しました。10月に行われました鹿兒島国体では、成年男子の部で、静岡県チームが、優勝候補の東京に準々決勝で2-1の勝利、準決勝では地元鹿兒島に1-2で惜敗をしましたが、ベスト4に入賞しました。強化において、良い成績を収めたことは、熱い指導者、関係者の皆様のご尽力によるものであります。

また本県スポーツの振興に多大なる功績に贈られる第64回静岡県スポーツ協会体育功労賞を左口直人理事長が受賞、第72回静岡新聞社・静岡放送スポーツ賞体育功労賞を高田和夫副会長がそれぞれ受賞をいたしましたことに賛辞を贈りたいと思います。地域スポーツの益々の発展に寄与することを願っています。

そして、今年度はオリンピッククイヤーにおける柔道競技の活躍に期待が膨らみます。前回の東京五輪では、熱い戦いが繰り広げられ、男女ともに、素晴らしい成績を残すことが出来ました。パリ五輪には、浜松出身の橋本壮市選手が73kg級に出場します。今季、5月の世界選手権で銅メダルを獲得。続くマスタートーズ大会での優勝が決定打となり、初の五輪代表に内定しま

した。32歳での出場は日本男子史上最年長となります。12月には、浜松市武道館で柔道教室を開催しました。代表内定後、イベントなどで地元を訪れるのは初めてで、念願の五輪切符を手にしたの凱旋で、挨拶において「最も自分らしい姿で戦って行く。金メダルを取り、来年のこの場で報告したい」と力強く宣言していきました。私も、学生時代にモントリオール五輪の代表選手が大学で合宿を行い、自分自身もその凄まじい稽古は目を見張るものがありました。選手たちの努力と技術が光り輝く瞬間が楽しみです。柔道は単なる競技だけでなく、相手を尊重し、礼儀正しさも大切にされるスポーツです。その精神が国際舞台で発揮され、世界中のファンに感動を与えることは必至です。日本の柔道界が世界に誇る実力を示し、様々な国との交流が深まることを期待しています。オリンピックが柔道の魅力をもっと多くの人々に伝え、新たなファンを増やすきっかけとなることを願っています。

近年、全国的な少子化や、趣味の多様化に伴う柔道人口の減少が問題となっており、同時に「指導者不足」という問題も抱えており、小学生や中学生、高校生の指導にあたるべき人材の確保の難しさが、苦境に立たされております。急激に進行する少子化は子供たちのスポーツ環境やその未来にも影響があると懸念する話題は、日本を含む多くの国で共通しています。少子化は様々な要因により、スポーツの

参加者数にも影響を与えています。いくつかの理由として考えられるのは、第一に、若者が多様なスポーツや趣味に興味を持つ中で、柔道が選択肢として浮上しづらいことが挙げられます。また、学業や就業の圧力が増大している現代社会において、時間の制約も一因となっている可能性があります。これに対応するために新しいアプリやプログラムを導入し、柔道の魅力をアピールする努力を重ねて、柔道の価値観や精神面へのアプローチ、親子で楽しめるプログラムの拡充などが考えられます。また、昨年スポーツ庁から、地域社会との連携や学校との協力も重要で（中学校運動部が地域と連携）、これによってジュニアスポーツの環境整備と地域スポーツの最適化を実現して、柔道人口の回復や安定化に繋がると期待されますので、日本の伝統である武道「柔道」精神を、未来ある子どもたちに伝えていくことは、我々に課せられた使命であると考え、この困難な状況を打破すべく、尽力していきたいと思っております。最後になりますが、静岡県柔道協会関係各位に一層のご協力をお願いし、挨拶とさせていただきます。



大会報告

2023 特別国民体育大会柔道競技「燃ゆる感動がごしま国体」

期間 令和5年10月14日(土)〜10月16日(月)
会場 西原商会アリーナ(鹿児島アリーナ)

少年男子の部

少年男子チーム

監督 渡部直樹 静岡学園高校 校教諭

コーチ 松野 立 湖西高校教諭

トレーナー 八代直也 (SPCC)
先鋒 石川 健 (2年) 静岡学園高校

次鋒 宮本 壮 (3年) 東海大静岡翔洋高校

中堅 内山久羽吾 (3年) 加藤学園高校

副将 沖山 智 (3年) 静岡学園高校

大将 佐藤然治 (2年) 加藤学園高校

今年度特別国民大会では少年男子は全県出場で開催されました。本県出場選手は各階級において全国大会、東海大会等で実績をあげた選手の中より選出しました。特に宮本選手と沖山選手においては昨年、いちご一會とちぎ国民体育大会も経験している選手です。

チームは、3年生が3名、2年生が2名の5名で本大会に臨みました。静岡県柔道協会よりロゴマークの入った柔道衣を贈

呈して頂き、選手は強い気持ちで静岡県の代表を誇りに戦うことができました。
試合結果は以下のとおりです。

一回戦

静岡県 2-1 奈良県

☆先鋒

石川健(技あり) ▲山田晟(天理高校)

石川(左組み) 山田(右組み)のケンカ四つ。石川が開始から積極的の前に出て6秒で相手に場外指導が与えられる。石川はその後積極的に攻め続け2分過ぎの組み際に小外掛けで技ありを奪う。一本の判定がでてもおかしくない見事な技であった。その後積極的に前に出ていくが相手にかわされ4分終了、石川の技あり勝ち。一本勝ちを最後まで取りに行く姿勢はチームに良い流れをもたらした。

☆次鋒

宮本壮(合わせ技) ○作本迅(天理高校)

宮本(左組み) 作本(左組み)の相四つ。お互いに激しい組み手争いで技を仕掛け2分が経過する。宮本は積極的の前へ出て手数を増やし相手の攻撃を封じていたが、2分過ぎ出足払いで体勢を崩し寝技に持ち込まれ縦

四方固めで一本負け。一瞬のスキを突かれての敗戦だけに悔やまれる。1-1の内容差でリードを許す。

☆中堅

内山久羽吾(懸) ○木嶋壮太(豊稔)

内山(左組み) 木嶋(左組み)の相四つ。体格差で一回り上回る相手との対戦であり厳しい組み手争いが予想される。序盤背負い投げや足技で攻め続け優位に試合を進めると2分過ぎ相手に消極的な指導が与えられる。その後背負い投げを中心に攻めるも、残り1分、相四つで組み合ったまま相手が力づくで真下に潰してそのまま腰締めを持つていくと立って逃れようとするが完全に決まり一本。指導を奪い良いペースで試合展開をしていただけに一瞬のスキを突かれた痛い敗戦となった。1-2でリードされる。

☆副将

沖山智(技あり) ▲藤山丈太郎(豊稔)

沖山(左組み) 藤山(右組み)のケンカ四つ。内容差でチームとして引き分けでも後のない大事な一戦。沖山は開始から積極的に攻撃をする。開始1分10秒引き手をうまくとると体落としで技ありを奪う。そのまま横四方固めで抑え込むも8秒で逃げられてしまう。その後はお互いに組み手争いが続き試合終了。2-1に追いついたが内容差では負けている状態で大将戦を迎えることとなった。

☆大将

佐藤然治(合わせ技) ×瀬川賢豪(豊稔)

佐藤(右組み) 瀬川(右組み)の相四つ。瀬川選手は全日本強化に選出されている選手で体格では佐藤を大きく上回っている。しかし内容差で負けていることもあり佐藤は積極的に足技、背負い投げと仕掛けていく。良いところを持ってこう着状態が続き1分過ぎにお互いに指導が与えられる。何とか良い組み手を作ろうとするが相手も体格を生かし奥襟を狙いに前に出る。残り1分27秒、佐藤は組み際に技を仕掛けに行っていたが審判には組み合わない判断され指導2をもらう。その後背負い投げ、袖釣り込み腰と技を仕掛けるも試合終了引き分けに終わる。チームは2-1内容差で敗戦となった。

総括

少年男子チームは昨年度も出場している沖山と宮本中心に3年生と2年生が融合したチームとなりました。全国大会の雰囲気の流れは初戦の強豪奈良県戦に臨みました。試合は内容差で負け悔しい結果となりましたが、手に汗を握る素晴らしい試合展開でした。選手は、静岡県代表という誇りを胸に、素晴らしい勇姿を見せてくれたと思います。
来年度の少年男子も全国47都

成年男子の部

成年男子チーム

総監督 渡邊達也 静岡県警察

審判派遣 渡部成也 静岡県警察

※東海大会監督

監督 小椋俊彦 静岡県警察

コーチ 佐野太一 静岡県警察

トレーナー 八代直也 ソルク

先鋒 芹沢翔哉 静岡県警察

次鋒 多田陽平 静岡県警察

中堅 齋藤光星 静岡県警察

副将 米山竜生 静岡県警察

大将 小林悠輔 渡邊電設

成年男子は全国より各ブロックを勝ち抜いた17チームと開催地の鹿児島県を含めた18チームでのトーナメント方式によって開催されました。本県においては、東海ブロック大会の予選枠が1つという厳しい中で見事勝ち抜き、本大会出場となりました。本県出場選手は昨年同様で

道府県すべてが出場できます。今回、2年生が2名出場していることもあり、今大会の経験を活かし上位を狙ってのチーム作り、強化を図っていく所存です。最後になりましたが、会長をはじめ協会関係者の支援・激励に御礼を申し上げます。今年度の大会で大きく飛躍することを誓い、大会結果の報告いたします。

静岡県少年男子監督 渡部直樹

静岡県在住者での構成。静岡県柔道協会より柔道衣(写真参照)を贈呈していただき、野田昭一会長以下チーム静岡一丸となって戦いました。

【先鋒】 芹沢翔哉 静岡県警察 (静岡学園高校―日本大学) 切込み隊長



【次鋒】 多田陽平 静岡県警察 (栃木県立大田原高校―東海大学) 満身創痍



【中堅】 齋藤光星 静岡県警察 (加藤学園高校―早稲田大学) シニア体重別2位



【副将】 米山童生 静岡県警察 (東海大翔洋高校―東海大学) 全日本初出場



【大将】 小林悠輔 渡邊電設 (埼玉栄高校―筑波大学―旭化成) 皆の心のエース



【成年男子二回戦】 ※二回戦が初戦 静岡県 3-0 北海道

★先鋒

芹沢翔哉(○内股すかし) ▲鷺見仁義

芹沢(右組) 鷺見(左組)のケンカ四つ。鷺見は北海道警察で全国警察選手権3位の実力者。芹沢は背負投や小内刈、鷺見は内股で攻めるが、お互い引き手が持てず不十分に技を繰り出す。40秒、鷺見が引き手を持った瞬間に内股を仕掛けたが、芹沢がうまく反応し、内股をすかして技あり。2分42秒、両者に指導一(組み合わない)。

その後、お互い技を仕掛けるも自分の組み手になれず本戦が終了。芹沢の技あり勝ち。チームに勢いをつける貴重な一点を先取する。

多田陽平×(引き分け) ×竹下徹 多田(右組) 竹下(右組)の相四つ。竹下は中央大学4年生。竹下は序盤から積極的に背負投を中心に技を掛け多田を追い込む。多田は足を動かし、組み手で攻撃をかわす。43秒、両者に指導一(組み合わせない)。

2分28秒、多田に指導二(ピス

トルグリップ)。竹下はその後も前に出てくるが、多田は粘り強く戦い引き分け。一点を守り中堅戦となる。

★中堅 齋藤光星×(引き分け) ×杉本将一朗 齋藤(左組) 杉本(左組)の相四つ。杉本は国士館大学4年生。齋藤の釣り手を杉本が引き手で落とし、背負投を中心に攻める。齋藤は釣り手を持つことができず、先に技を掛けられる。3分30秒、齋藤に指導一(組み合わせない)。

杉本は攻め続けるが、齋藤が粘り強く戦い引き分け。一点を守り副将戦となる。

★副将 米山童生○(棄権勝ち) ▲高田大樹 米山(左組) 高田(右組)のケンカ四つ。高田は旭川刑務官で前日の監督会議で瀧田(北海道警察)と変更。高身長の高田を米山は釣り手で上から押さえて小外刈で攻める。49秒、両者に指導一(片手を突いて組み合わせない)。

1分15秒、米山は右手を使い勢いよく高田の釣り手を払ったところ、高田は手を負傷して米山の棄権勝ち。静岡の初戦突破が決まる。

★大将 小林悠輔○(背負投) ▲佐藤大輔 小林(左組) 佐藤(左組)の相四つ。佐藤は東海大学出身で札幌高等学校望星塾職員。小林は引き手を使い巧みな組み手で試合を進める。1分10秒、小林の

一本背負投で技あり。2分33秒小林が試合を有に進めるも両者に指導一(消極的)。小林はその後も落ち着いて試合を進め、技あり勝利。3対0で準々決勝進出。

【成年男子準々決勝戦】 静岡県 2-1 東京都

★先鋒 芹沢翔哉×(引き分け) ×清水夏輝 芹沢(右組) 清水(右組)の相四つ。清水は警視庁で令和5年シニア体重別選手権3位の実力者。芹沢は小内刈や巴投、清水は背負投や寝技を繰り出し攻防が続く。3分35秒、両者指導一(組み合わせない)。

その後お互い決め手がなく引き分け。次鋒戦へ繋ぐ。

★次鋒 多田陽平▲(袖釣込腰) ○原田健士 多田(右組) 原田(右組)の相四つ。原田は総合警備保障で令和3年グランドスラムパリ優勝など国際大会でも活躍する実力者。40秒、技を仕掛けようと前に出る多田の勢いを利用し、原田が低い袖釣込腰で一本の判定。ピデオ判定により一本が取り消され(一回転でして畳に着地)再度試合開始。1分18秒、多田に指導一(消極的)。

2分8秒、原田が再度低い袖釣込腰で一本勝ち。一点を先取され中堅戦となる。

★中堅 齋藤光星×(引き分け) ×釘丸将太

齋藤(左組) 釘丸(左組)の相四つ。釘丸はパーク24で全日本B強化選手、前日の監督会議でベイカー(日本中央競馬会)と変更。齋藤は積極的に組み内股や寝技を仕掛けるが、釘丸も組際の体落や大外刈を繰り出し攻める。1分20秒、釘丸に指導一(袖口)。

1分49秒、齋藤に指導一(消極的)。

中盤から釘丸が攻め立てるが、齋藤も粘り強く戦い引き分け。一点を先取されたまま副将戦となる。

★副将 米山童生○(小外掛) ▲熊坂光貴 米山(左組) 熊坂(右組)のケンカ四つ。熊坂はセンコーで令和4年講道館5位の全日本B強化選手。米山は前半から積極的に内股や体落で攻め、熊坂に前技への意識を植え付けながら攻めていく。55秒、両者指導一(片手を突いて組み合わせない)。

米山は終盤まで足を止めず攻め続ける。3分16秒、熊坂が前屈み姿勢(前技への対応)から上半身を起こした瞬間に合わせ、米山は小外掛を施し見事な一本勝ち。同点に追いつき大将戦へ勢いをつける。

★大将 小林悠輔○(大外刈) ▲グリーンカラニ海斗 小林(左組) グリーン(左組)の相四つ。グリーンは日本体育大学4年で令和5年全日本選抜2位の全日本B強化選手。グリーンが序盤から前に出てく

るのに対し小林は巧みな組み手で対応。53秒、小林に指導一（場外）。その後も小林とグリーンの一進一退の攻防が続く。3分47秒、両チームとも代表選を意識する中（引き分け選手から抽選）、小林はグリーンの一瞬の隙を見逃さず大外刈で技あり。会場がざわつき静岡陣営が歓喜にわいた。本戦が終了し2対1で劇的勝利。20年ぶりの準決勝進出。

【成年男子準決勝戦】

静岡県 1-2 鹿児島県 鹿嶋県

★先鋒

芹沢翔哉×(引き分け)×豎山将

芹沢（右組）豎山（左組）の相四つ。豎山はパーク24で令和5年全国日本選抜2位など国際大会でも活躍する全日本B強化選手。芹沢は小内刈や背負投、豎山は背負投や肩車で攻める。芹沢は豎山の釣り手を上から押さえるなど、終始釣り手をコントロールし、豎山も攻めきれず引き分け。次鋒戦へ繋いだ。

★次鋒

多田陽平▲(合技)○内村秀資

多田（右組）内村（右組）の相四つ。内村は自衛隊体育学校で全日本B強化選手。25秒、両者が組み合った瞬間、内村が大外で技あり。34秒、再度組み合ったところ内村が巴投で技あり合技で一本となった。一点を先取され中堅戦となる。

★中堅

齋藤光星▲(肩車)○吉野弘人

齋藤（左組）吉野（右組）のケンカ四つ。吉野は鹿屋体育大出身で戸高鋳業社。齋藤は序盤から内股や背負投で積極的に攻める。1分58秒、前に出る齋藤の勢いを利用し吉野が肩車で技あり。2分32秒、吉野に指導一（偽装攻撃）。その後も齋藤が怒涛に攻めるが本戦終了で技あり負け。2点を先取され副将戦となる。

★副将

米山竜生×(引き分け)×上林山勇斗

米山（左組）上林山（右組）のケンカ四つ。上林山は鹿児島県警察。米山は勝たなければ（技あり以上）、チームが負けてしまうため、序盤から積極的に攻める。1分23秒、上林山に指導一（片手を突いて組み合わない）。2分36秒、米山に指導一（場外）。その後も米山は技を掛け続けるが上林山の鉄壁の守りを崩せず引き分け。静岡の敗退が決定した。

★大将

小林悠輔◎(僅差)▲上林山裕馬

小林（左組）上林山（右組）のケンカ四つ。上林山は福岡県警察で副将の上林山の兄。小林は勝敗が決定していても試合を捨てることなく果敢に攻め続け、1分4秒、上林山に指導一（片手を突いて組み合わない）。3分42秒、上林山に指導二（片手を突いて組み合わない）。そのまま試合終了。1対2で惜敗。小林は最後まで諦め

ない精神を選手たちの心に焼きつけ3位決定へ進む。

【成年男子3位決定戦】

静岡県 0-2 佐賀県 (次回開催)

★先鋒

芹沢翔哉▲(合技)○近藤隼斗

芹沢（右組）近藤（左組）ケンカ四つ。近藤は国士館大学4年生で令和4年講道館杯優勝し全日本B強化選手。お互い攻め合うが、1分2秒、両者指導一（片手を突いて組み合わない）。1分20秒、近藤は内股を仕掛け、芹沢が体制を崩したところ、さらに小内刈で技あり。中盤から地力のある近藤が攻め立て、2分9秒、芹沢に指導二（片手を突いて組み合わない）。2分21秒、近藤が出足からの内股で技あり、合技で一本。一点を先取され次鋒戦となる。

★次鋒

多田陽平▲(小内刈)○田中龍雅

多田（右組）田中（右組）の相四つ。田中は筑波大学1年生全日本B強化選手。田中は序盤から背負投、小内刈と攻め多田は粘り強く戦う。1分、田中は組み合ったところ小外掛で技あり。1分45秒、多田に指導一（組み合わない）。1分57秒、田中は片襟の背負投からの小内刈で一本。二点を先取され中堅戦となる。

★中堅

齋藤光星×(引き分け)×佐藤正大

齋藤（左組）佐藤（右組）のケンカ四つ。佐藤は自衛隊体育学校出身で、全日本選抜や講道館杯等で上位の成績を残した実力者。齋藤は静岡が二点リードされているため序盤から攻めるが、佐藤は落ち着いて組み手を重視して戦う。49秒、佐藤に指導一（場外）。2分22秒、齋藤に指導一（片手を突いて組み合わない）。その後も齋藤が攻めるもスコアが取れず引き分け。二点を先取されたまま副将戦となる。

★副将

米山竜生×(引き分け)×松雪直斗

米山（左組）松雪（右組）のケンカ四つ。松雪は福岡県警察で警察選手権優勝経験がある実力者。米山は勝たなくては、（一本勝ち以上）チームが負けてしまうため、大内刈や小外掛で積極的に仕掛ける。59秒、米山に指導一（袖口）。1分31秒、米山に指導二、松雪に指導一（片手を突いて組み合わない）。2分54秒、松雪に指導二（消極的）。ラスト1分、米山は必死に攻め続けるも、一歩及ばず引き分け。静岡の敗退が決定する。

★大将

小林悠輔×(引き分け)×小畑大樹

小林（左組）小畑（右組）のケンカ四つ。小畑は筑波大学4年生で小林の後輩。お互い組手

や技を熟知している。1分18秒、両者指導一（組み合わない）。2分38秒、両者指導二（消極的）。終盤小畑が攻め続けるが、小林も力を振り絞り最後まで戦い抜いたが引き分け。0対2で完敗するも、堂々たる4位入賞。

《総括》

成年男子チームは、昨年の第77回いちご一会とちぎ国体から副将（小林）と大将（米山）の順番を変えたのみで、メンバーの変更がないため、選手同士もコミュニケーションをよく取り雰囲気が出すべく良いチームです。変わったといえば選手一人ひとりの意識だと思っています。昨年からチームに合流した小林悠輔選手と八代直也トレーナーがその着火剤となり、渡部成也（静岡県警察監督）が選手に練習課題（厳しい）を与え、「静岡から世界で戦える選手」を出すことを目標とし、トレーニン



はもう一つ上で戦わせてあげたかったですが、私の指導力不足も今後の課題として取り組んでいきたいと思えます。もう一つの収穫は、少年男子が試合後に残り、成年男子の受けやサポートをしてくれました。少年男子の選手たちは成年男子の試合やそこに向かう姿勢を間近で体験したことで、他では味わえない経験をしたのではないかと思います。将来は静岡で成年男子として出場し活躍してくれると信じています。最後に会長をはじめ静岡県柔道協会関係者の支援・激励に心から感謝を申し上げます。また直接足を運んで選手たちに熱い声援を送っていただいた方々本当にありがとうございます。感謝の気持ちを忘れることなく次年度の国民スポーツ大会の活躍を願い、大会結果の報告といたします。

静岡県成年男子監督 小椋 俊彦

第65回 静岡県柔道祭開催

令和5年10月22日(日)
午前9時30分開会式
静岡県武道館

昨年までは新型コロナウイルスの影響で無観客での開催となっていたが、本年度はようやく有観客で行われ、会場にも活気が戻ってきた。

開始式の後、柔道発展に尽力された指導者や、全国大会などで好成績を上げた選手の功績を讃え、恒例の静岡県柔道協会表彰式が行われ、次の方々が表彰された。

【功労賞】

- ・長島 和久 (東部支部推薦)
- ・丸山 繁 (東部支部推薦)

【奨励賞】

- ・鈴木 久司 (東部支部推薦)
- ・丹尾 英基 (東部支部推薦)
- ・吉田 卓実 (東部支部推薦)
- ・大村 恭一 (中部支部推薦)
- ・中村 航 (中部支部推薦)
- ・高林 祐介 (西部支部推薦)
- ・菊池 直樹 (西部支部推薦)
- ・杉山 崇 (西部支部推薦)

【優秀選手賞】

- ・牧園 羽菜 (藤枝順心高校)
- 第45回 全国高等学校柔道選手権大会 女子48kg級 優勝
- ・永田りん子 (東海大静岡翔洋高校)
- 第45回 全国高等学校柔道選手

- 権大会 女子63kg級 第三位
- ・沖山 智 (静岡学園高校)
- 第72回 全国高等学校総合体育大会 男子100kg級 第三位
- ・山崎 真江 (しずはたスポーツクラブ)
- 第6回 Vines グローバルゲームズ 柔道女子70kg級 第一位

表彰式の後、取・渡邊 達也(八段)、受・大村 恭一(六段)による講道館柔道「古式の形」の演武が行われた。古式の形は元来、柔術の起倒流の形であったものを、講道館の形の一つとして残したもので、表14本、裏7本から成り立っており、武士が戦場で鎧を着用した状態での組討ちで、投技を中心として考案されている。受取両者が会場中央の試合場の両端に立つと、武道館大道場満員の大観衆は静まり返り、両者のすりの音と時折響き渡る受身の音のみが聞こえる静寂の中、緊張感あふれる見事な演武が披露された。

形の演武の後、各試合場で小学生の部の試合から一斉に開始され、会場は静寂から声援へと変わっていった。小学生から一般まで支部予選を勝ち抜いた男女74チームが、満員の観客席からの声援を受けて熱い戦いを繰り広げた。団体戦の県チャンピオンを決める大会で数年ぶりに有観客で行われたとあって会場は以前にも増して盛り上がりを見せていた。

〈第65回 静岡県柔道祭成績〉

〔小学生の部〕

- ・優勝…育誠館
- ・二位…和道場
- ・三位…藤枝柔道倶楽部
- ・三位…浜北柔道スポーツ少年団

〔中学男子の部〕

- ・優勝…静岡学園中学校
- ・二位…東海大静岡翔洋高校中等部
- ・三位…長岡中学校
- ・三位…育誠館

〔中学女子の部〕

- ・優勝…藤枝順心中学校
- ・二位…東海大静岡翔洋高校中等部
- ・三位…伊東柔道会
- ・三位…長岡中学校

〔高校男子の部〕

- ・優勝…東海大静岡翔洋高校
- ・二位…静岡学園高校
- ・三位…加藤学園高校
- ・三位…浜松商業高校

〔高校女子の部〕

- ・優勝…藤枝順心高校
- ・二位…飛龍高校
- ・三位…浜松商業高校
- ・三位…東海大静岡翔洋高校

〔一般の部〕

- ・優勝…日大三島柔友会
- ・二位…静岡刑務所
- ・三位…栗田産業株式会社
- ・三位…和道場

〔優秀選手〕

- 小学生の部
- ・角田 協大 (育誠館)
- ・大藪 倉楽 (和道場)
- 中学男子の部

- ・橋本 圭登 (静岡学園中学校)
- ・金子 翔 (東海大学翔洋高校中等部)
- 中学女子の部
- ・村越 凜 (藤枝順心中学校)
- ・伊藤 由衣 (東海大学翔洋高校中等部)
- 高校男子の部
- ・城本 憲生 (東海大学翔洋高校)
- ・大橋 誠弘 (静岡学園高校)
- 高校女子の部
- ・新夕 志桜 (藤枝順心高校)
- ・松村 美来 (飛龍高校)
- 一般の部
- ・大橋 海斗 (日大三島柔友会)
- ・中川 雄貴 (静岡刑務所)



各種大会の報告

【小中学生】

第43回静岡県少年柔道団体選手権大会(全国少年柔道大会静岡県予選)

令和5年2月19日(日)

静岡県武道館

1位 和道場

2位 静岡東部柔道クラブ

3位 浜北柔道スポーツ少年団

3位 育誠館

第43回全国少年柔道大会

令和5年5月4日(木祝) 合同練成

令和5年5月5日(金祝) 試合練成

講道館大道場

予選リーグ(Bグループ) 2位

和道場▲2130 岩国少年柔道クラブ(山口)

第20回静岡県小学生学年別柔道大会

令和5年5月21日(日)

静岡県武道館

男子5年45kg級

1位 宮守 敦也(柔好会)

2位 水口凌大朗(神土館)

3位 政二 海惺(韭山柔道教室)

男子5年45kg超級

1位 犬塚 大翔(和道場)

2位 山本 昊聖(浜北柔道)

3位 山崎 篤人(清水町柔道会)

北原 空(静岡錬心館)

男子6年45kg級

1位 安齋 俊貴(神土館)

2位 田中 遼介(三島柔道会)

3位 齋藤 楽太(柔好会)

長谷川虎亮(藤枝柔道会)

男子6年65kg級

1位 岩井 拓真(清流館)

2位 久保 将杜(藤枝柔道会)

3位 渡辺 新大(伊豆長岡柔道会)

芦澤 英大(清水柔道会)

男子6年65kg超級

1位 清水 雅輝(国士塾)

2位 望月 一翔(静岡東部柔道クラブ)

3位 大橋 和空(SU柔道クラブ)

稲毛 海翔(沼津柔道会)

女子5年40kg級

1位 加藤 さい(清水町柔道会)

2位 齊藤 仁菜(袋井スポ協柔道部)

3位 長島 椿(清水町柔道会)

上杉 紗菜(SU柔道クラブ)

女子5年40kg超級

1位 増田 帆奏(静岡東部柔道クラブ)

2位 鈴木 もも(田代道場)

3位 庄司 帆伽(小山町柔道連盟)

福田 莉愛(韭山柔道教室)

女子6年40kg級

1位 加藤 優心(静岡東部柔道クラブ)

2位 小川 理瑚(袋井スポ協柔道部)

3位 藪田 希風(大仁柔道会)

八木 杏梨(大仁柔道会)

女子6年55kg級

1位 佐野 陽咲(静岡東部柔道クラブ)

2位 通場 真尋(NPO武道学舎)

3位 岡本 彩葉(磐南柔道クラブ)

山河 美羽(NPO武道学舎)

女子6年55kg超級

1位 杉本 奈優(育誠館)

2位 吉永 朱里(富士共栄道場)

第11回静岡県小学生学年別柔道選手権大会

令和5年9月17日(日)

静岡県武道館

男子4年輕量級

1位 富田 陸(中部支部)

2位 飯塚 礼慈(神土館)

3位 塚本 大暉(藤枝柔道俱樂部)

東 樂(清水町柔道会)

男子4年輕量級

1位 荒木 康成(和道場)

2位 竹田 大鷹(藤枝柔道俱樂部)

3位 野村 海成(NPO法人武道学舎)

守野 結斗(伊豆長岡柔道会)

男子5年輕量級

1位 水口凌大朗(神土館)

2位 水野 蒼太(神土館)

3位 青木 想來(中部支部)

松本 奏環(静岡東部柔道クラブ)

男子5年輕量級

1位 犬塚 大翔(和道場)

2位 山本 昊聖(浜北柔道スポ少)

3位 山崎 篤人(清水町柔道会)

宮守 敦也(中部支部)

男子6年輕量級

1位 竹谷 一希(静岡東部柔道クラブ)

2位 藪寄 秀真(韭山柔道教室)

3位 橋本 新(沼津柔道会)

山本 葉大(藤枝柔道俱樂部)

男子6年中量級

1位 海老塚優太(中部支部)

2位 竹谷 太希(静岡東部柔道クラブ)

3位 埴淵 皇雅(浜北柔道スポ少)

桑原 輝嵐(南伊豆柔道会)

男子6年重量級

1位 久保 将杜(藤枝柔道俱樂部)

女子4年輕量級

1位 市川 結彩(永友会)

2位 寺岡 穂(神土館)

3位 河野 心音(沼津柔道会)

鈴木明日美(沼津柔道会)

女子4年輕量級

1位 長尾 楓純(清流館山縣道場)

2位 大橋ひまり(静岡東部柔道クラブ)

3位 西山 叶愛(藤枝柔道俱樂部)

大橋 海音(SU柔道クラブ)

女子5年輕量級

1位 大石 幸侖(袋井スポ協柔道部)

2位 加藤 さい(清水町柔道会)

3位 山本 愛海(清水柔道)

女子5年輕量級

1位 増田 帆奏(静岡東部柔道クラブ)

2位 鈴木 もも(田代道場)

3位 福田 莉愛(韭山柔道教室)

松村 美咲(永友会)

女子6年輕量級

1位 加藤 優心(静岡東部柔道クラブ)

2位 工藤璃耶子(富士市柔道会)

3位 駒井南々迦(滝井道場)

女子6年中量級

1位 山河 美羽(NPO武道学舎)

2位 小久江沙和(袋井スポ協柔道部)

3位 志村 彩葉(沼津柔道会)

女子6年重量級

1位 通場 真尋(NPO武道学舎)

2位 佐野 陽咲(静岡東部柔道クラブ)

3位 澤口 花音(藤枝柔道俱樂部)

【中学生】

第12回静岡県柔道協会会長杯中学校柔道大会

令和5年5月3日(水祝)

静岡県武道館

男子団体戦

1位 静岡学園中学校

2位 長岡中学校

3位 笠井中学校

女子団体戦

1位 藤枝順心中学校

2位 長岡中学校

3位 静岡翔洋中等部

静岡県中学校総合体育大会柔道競技の部

令和5年7月25日(火)・26日(水)

静岡県武道館

男子団体戦

1位 静岡学園中学校

2位 笠井中学校

3位 長岡中学校

女子団体戦

1位 藤枝順心中学校

2位 静岡翔洋中等部

3位 浜北北部中学校

男子個人50kg級

1位 渡邊 以蔵(長岡中)

2位 浅井 嘉忠(掛川西中)

3位 萩原 愛斗(静岡翔洋中)

男子個人55kg級

1位 大城 脩也(可美中)

2位 平賀 翔馬(沼津市立中)

3位 神村 灯士(笠井中)

第71回静岡県高等学校総合体
育大会柔道競技

令和5年5月13日(土)・27日(土)

静岡県武道館

男子団体

優勝 加藤学園高校

女子団体

優勝 藤枝順心高校

男子個人戦

優勝 栗田 昊輝(静岡学園)

66kg級

優勝 岡本 篤弥(静岡学園)

73kg級

優勝 宮本 壮(東海大翔洋)

81kg級

優勝 内山久羽吾(加藤学園)

90kg級

優勝 川崎 隼矢(浜松西)

100kg級

優勝 沖山 智(静岡学園)

100kg超級

優勝 倉持 光陽(加藤学園)

女子個人戦

優勝 牧園 羽菜(藤枝順心)

48kg級

優勝 小林 佳奈(東海大翔洋)

52kg級

優勝 小山 結愛(藤枝順心)

57kg級

優勝 小山 結愛(藤枝順心)

63kg級

優勝 永田りん子(東海大翔洋)

70kg級

63kg級
永田りん子(東海大翔洋) 3位
無差別級
中道 咲桜(東海大翔洋)2回戦敗退

第70回東海高等学校総合体
育大会柔道競技

令和5年6月17日(土)・18日(日)

静岡県武道館

男子団体

加藤学園高校

静岡学園高校

女子団体

藤枝順心高校

加藤学園高校

男子個人戦

渡邊 誉一(加藤学園)

66kg級

山本 蓮心(日大三島)

岡本 篤弥(静岡学園)

73kg級

宮本 壮(東海大翔洋)

81kg級

内山久羽吾(加藤学園)

川合 遼(静岡学園)

90kg級

川崎 隼矢(浜松西)

100kg級

沖山 智(静岡学園)

佐藤 然治(加藤学園)

女子個人戦

名生 紗彩(東海大翔洋)

52kg級

小林 佳奈(東海大翔洋)

63kg級

永田りん子(東海大翔洋)

優勝 笠間 芽伊(加藤学園)
78kg級
優勝 石塚さつき(藤枝順心)
78kg超級
優勝 中道 咲桜(東海大翔洋)

第54回全国高等学校定時制通
信制柔道大会

令和5年8月6日(日)

講道館

男子団体戦

静岡県

女子団体戦

静岡県

男子個人戦

ヒガツヨシ(磐田南) 2回戦敗退

75kg級

大倉 愛翔(浜松工業) 3回戦敗退

90kg級

井出 涼輔(富士) 1回戦敗退

90kg超級

上田 輝幸(星槎静岡) 1回戦敗退

女子個人戦

52kg級

酒井 美玖(富士) 1回戦敗退

63kg級

芹澤 綺麗(キラリ) 2位

山本 和美(キラリ) 2回戦敗退

63kg超級

鈴木 華(鹿島浜松) 2位

山本 愛美(磐田南) 1回戦敗退

令和5年度全国高等学校総合
体育大会

令和5年8月8日(火)〜12日(土)

北海きたえーる(北海道立総合体育センター)

男子団体

加藤学園高校 5位

女子団体

藤枝順心 1回戦敗退

男子個人戦

栗田 昊輝(静岡学園) 1回戦敗退

66kg級

岡本 篤弥(静岡学園) 1回戦敗退

73kg級

宮本 壮(東海大翔洋) 2回戦敗退

81kg級

内山久羽吾(加藤学園) 2回戦敗退

90kg級

川崎 隼矢(浜松西) 2回戦敗退

100kg級

沖山 智(静岡学園) 3位

100kg超級

倉持 光陽(加藤学園) 2回戦敗退

女子個人戦

牧園 羽菜(藤枝順心) 5位

52kg級

小林 佳奈(東海大翔洋) 1回戦敗退

57kg級

小山 結愛(藤枝順心) 2回戦敗退

63kg級

深沢 はす(藤枝順心) 2回戦敗退

※永田りん子選手(東海大翔洋)の怪我により繰り上げ出場

70kg級

笠間 芽伊(加藤学園) 3回戦敗退

78kg級

石塚さつき(藤枝順心) 2回戦敗退

第5回文武両道杯全国高校柔
道大会

令和5年12月16日(土)

講道館

男子団体戦

浜松西高校

女子団体戦

浜松北高校・浜松西高校合同
予選リーグ敗退

第46回全国高等学校柔道選手権
大会静岡県予選(男女個人戦)

令和6年1月13日(土)

静岡県武道館

男子

60kg級

優勝 石川 健(静岡学園)

66kg級

優勝 長屋 進(加藤学園)

73kg級

優勝 前田優生翔(東海大翔洋)

81kg級

優勝 川合 遼(静岡学園)

無差別級

優勝 佐藤 然治(加藤学園)

女子

48kg級

優勝 新夕 志桜(藤枝順心)

52kg級

優勝 松村 美来(飛龍高校)

57kg級

優勝 渡部 華奈(静岡学園)

63kg級

優勝 永田りん子(東海大翔洋)

・無差別級
優勝 中道 咲桜(東海大翔洋)

以上の選手は全国大会に出場する。
〔全国大会日程〕
令和6年3月19日(火)
日本武道館

第46回 全国高等学校柔道選手権大会静岡県予選(男女団体戦)

令和6年1月20日(土)
静岡県武道館

- 男子 優勝 加藤学園高校
- 女子 優勝 東海大附属静岡翔洋高校

以上の学校は全国大会に出場する。
〔全国大会日程〕
令和6年3月20日(水祝)
日本武道館

【ジュニア】

令和5年度静岡県ジュニア柔道体重別選手権大会

令和5年6月10日(土)

静岡県武道館

- 男子個人戦
- ・60kg級 1位 石川 健(静岡学園高)
- ・66kg級 1位 長屋 進(加藤学園高)
- ・73kg級 1位 宮本 壮(東海大翔洋高)
- ・81kg級 1位 川合 遼(静岡学園)

- ・81kg級 1位 川合 遼(静岡学園高)
- ・90kg級 1位 石井 克明(静岡学園高)
- ・100kg級 1位 沖山 智(静岡学園高)
- ・100kg超級 1位 倉持 光陽(加藤学園高)

●女子個人戦

- ・48kg級 1位 牧園 羽菜(藤枝順心高)
- ・52kg級 1位 小林 佳奈(東海大翔洋高)
- ・57kg級 1位 三木 くに(浜松西高)
- ・63kg級 1位 永田りん子(東海大翔洋高)
- ・70kg級 1位 笠間 芽伊(加藤学園高)
- ・78kg級 1位 石塚さつき(藤枝順心高)
- ・78kg超級 1位 渡邊 美海(藤枝順心高)

令和5年度 東海ジュニア体重別選手権大会

令和5年7月9日(日)
名張市武道交流館いきいき

- 男子
- ・60kg級 石川 健(静岡学園)
- ・66kg級 長野 進(加藤学園)
- ・73kg級 宮本 壮(東海大翔洋)
- ・81kg級 川合 遼(静岡学園)

- ・90kg級 石井 克明(静岡学園)
- ・100kg級 沖山 智(静岡学園)
- ・100kg超級 倉持 光陽(加藤学園)

●男子個人戦
・90kg級 齋藤 光星(静岡県警察) 2位

令和5年全日本柔道選手権大会
第38回 皇后盃全日本女子柔道選手権大会 東海地区予選
令和5年3月5日(日)
大垣市武道館

- 男子 米山 竜生(静岡県警察) 1位
- 女子 本郷 安季(株式会社イカイ) 3位

令和5年全日本柔道選手権大会

令和5年4月29日(土祝)
日本武道館

- 男子個人戦
- ・無差別級 米山 竜生(静岡県警察) 2回戦敗退

令和5年 第23回 東海柔道形競技大会

令和5年5月5日(金祝)
鈴鹿市武道館

- 投の形 取..正治 和也
- 極の形 取..芹沢 翔哉 1位
- 柔の形 取..長橋 正宏
- 五の形 取..舛田 健司 3位
- 古式の形 取..瀨川 侑希 4位
- 取..小林 美咲 4位
- 取..小笠原 淳 2位
- 取..渡邊 達也 1位
- 取..大村 恭一 1位

令和5年 全日本柔道形競技大会
令和5年6月10日(土)
講道館

- 投の形 取..正治 和也
- 古式の形 取..芹沢 翔哉 9位
- 取..渡邊 達也
- 取..大村 恭一 6位

2023年度 静岡県成年柔道体重別選手権大会

令和5年6月24日(土)
静岡県武道館

- 男子個人戦
- ・60kg級 1位 芹沢 翔哉(静岡県警察)
- ・73kg級 1位 多田 陽平(静岡県警察)
- ・90kg級 1位 村松 孝紀(静岡県警察)
- ・無差別級 1位 久松 達斗(静岡県警察)

●女子個人戦

- ・57kg級 1位 八道さくら(静岡県警察)
- ・無差別級 1位 瀨川 侑希(静岡県警察)

令和5年度全国警察柔道大会

令和5年10月23日(月)
日本武道館

- 男子団体戦(第3部) 静岡県警察 2位

【一般】

2022年度全日本シニア柔道体重別選手権大会

令和5年2月19日(日)
大浜だいしんアリーナ(堺市立大浜体育館)

- 女子48kg級 牧園 羽菜(藤枝順心高) 3位決定戦敗退

令和6年全日本柔道選手権大会・ 第39回全日本女子柔道選手権大会 静岡県予選会

令和6年1月28日(日)、静岡県武道館に於いて、令和6年全日本柔道選手権大会並びに第39回全日本女子柔道選手権大会静岡県予選会が開催された。
男子は参加選手18名が3組に分かれてトーナメントを行い、

各組1位が決勝リーグに進出するという方式で行われた。女子は参加選手7名が2組に分かれリーグ戦を行い、各組1・2位が決勝リーグへと駒を進めた。成績並びに結果は左記のとおりである。

なお男子1位の井上選手と米山竜生選手(推薦静岡県警察)と女子2名は東海地区予選会への出場権を獲得した。



〔男子〕 1位 井上直弥〔天理大学〕、2位 齋藤光星〔静岡県警察〕



〔女子〕 1位 八道さくら〔静岡県警察〕、2位 瀬川侑希〔静岡県警察〕

訃報



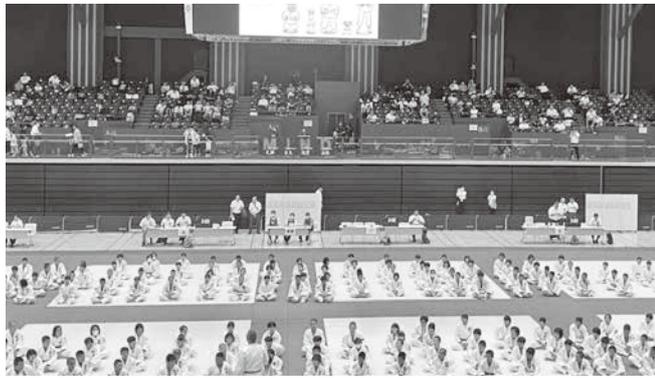
県西部支部柔道協会の役職・幹事を皮切りに1972年から西部支部理事・県理事、1976年から静岡県柔道協会西部支部幹事長・静岡県柔道協会副会長の職に就き静岡県柔道協会の発展に永年にわたり寄与しました。

静岡県柔道協会前副会長・前西部支部幹事長 山崎陸雄先生が2023年12月13日享年八十五歳にて永眠されました。ご訃報に接し心より哀悼の意を表します。

故山崎陸雄先生は、1960年日本体育大学卒業と同時に工学院大学付属工学院高等学校へ奉職。1962年4月静岡県教員に奉職し、静岡県立周智高等学校春野分校に着任、静岡県立城北工業高等学校・静岡県立新居高等学校に奉職し柔道部顧問として多くの優秀選手や地域の要職に着く人物を多数輩出しました。

1966年からは、静岡県西部支部柔道協会前副会長・前西部支部幹事長 山崎陸雄先生が2023年12月13日享年八十五歳にて永眠されました。ご訃報に接し心より哀悼の意を表します。

静岡県柔道協会西部 幹事長 問宮幸男



昨年に引き続き今年度も全日本小学生育成プロジェクトが横浜市武道館にて開催された。静岡県からは5月21日に行われた第20回静岡県小学生学年別柔道大会の6年生の優勝者6名のうち、くじ引きにより選出された男女4名が参加した。参加選手や会場の様子を帯同指導者として引率された育誠館道場の杉山崇先生にレポートしていただいた。

全日本小学生柔道育成プロジェクト2023

令和5年8月27日(日) 横浜市武道館

全日本小学生育成プロジェクト2023に参加して

静岡県帯同指導員 杉山 崇 (育誠館)

令和5年8月27日神奈川県横浜市武道館にて全日本小学生育成プロジェクトが行われ、静岡県からは清水雅輝(国士塾)、岩井拓真(清流館)、杉本奈優(育誠館)、加藤優心(静岡東部柔道クラブ)以上4名の選手を選出していただき参加して参りました。

会場の外で4人とも顔合わせの事が出来ましたがみんな不安と緊張感いっぱい顔をしています。中に入ると会場の大きさにびびりし、各県のゼッケンをつけたたくましい選手がたくさんいました。

まずは準備運動・受身・打ち込みがあり早々に二人二試合の練習試合がありました。選手4名持てる力を発揮し全力で頑張っていました。その後王子谷剛志選手・中村美里先生・佐藤善人先生を柔道教室があり、技の基本を中心とした指導を始めゲームを取り入れたトレーニングなど柔

道の楽しさを存分に教えていただきました。

私も観客席から静岡県選手を応援させていただきました。他県の選手達は非常に身体も大きく技もしっかりしておりびっくりしましたが、静岡県選手4名も練習試合では一歩もひかず堂々たる試合ぶりに感動致しました。

静岡県から参加した選手4名は全員練習態度も素晴らしく目を輝かせて柔道教室を受けており、将来静岡県を背負う選手になると確信しました。今後ますます静岡県小学生のレベルアップ、柔道を通して人間性の向上を祈願しております。

最後になりましたが静岡県の金の卵達を代表して4名の選手を選出し、派遣していただきましたことににつきまして、静岡県柔道協会の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございます。



道場紹介

県内各地でがんばっている「道場」

を各地区2道場ずつ紹介します。

- ①名称
- ②住所(練習場所)
- ③連絡先
- ④代表者氏名
- ⑤所属人数

函南柔道会

- ②田方郡函南町仁田56
函南中学校柔道場
- ③090-8737-4236
- ④鍵山 弘次
- ⑤幼児1名、小学生9名、
中学生3名、高校生2名、
社会人8名

⑥道場紹介

函南柔道会は函南町体育協会に属し町立函南中学校柔道場にて活動しています。幼年〜高校・一般の大人までの幅広い年代で男女・経験問わず加入しています。毎週火・金・土曜の午後7時〜午後9時30分まで活動しています。他の競技をやっている子、部活動に入っていない子もたくさんいます。日曜日にはだれでも参加できる日曜教室を開催しています。技についての意見交換や友達もたくさんできています。

稽古内容は、基本の受け身・打ち込み・投げ込み・乱取り・寝技を中心に行っています。小さい時の成長格差はとて大きく、今結果が出なくても将来活躍できるように個人に合



わせて指導を行っています。また、近年こどもの体力や身体能力の低下に伴い柔道だけではなくどんなスポーツでもできるように簡単なサーキットトレーニングや体幹運動を取り入れ能力向上に取り組んでいます。

生徒には日々の稽古や試合の経験から、言われたことをするだけではなく「出来たこと」「出来なかったこと」を自分で考え工夫や努力ができるように指導しています。

柔道は生涯において区切りが無くできる競技です。柔道を通じて培ったものを人生の役に立ててほしいと願っています。

葦山柔道教室

- ②伊豆の国市葦山葦山392-1
- ③090-4851-4782
- ④中村文憲
- ⑤小学生：11名、
中学生：3名

⑥道場紹介

葦山柔道教室は、斉藤圭司師範が、昭和44年に葦山町青年団柔道教室として、葦山高校の柔道場をお借りし青年10名程で活動を開始しました。その後、昭和47年に葦山町柔道教室として、少年柔道が開始、昭和51年には練習場所を葦山体育館に移しました。平成17年に、葦山町、大仁町、伊豆長岡町の合併により、名称を葦山柔道教室と改称し現在に至ります。

稽古は、火・木・金の週3回、19時〜21時まで約2時間活動しています。練習の特徴としては、運動能力の向上を目標にしたジャンプトレーニングから開始し、柔道では、打ち込みや投げ込みを中心に基本練習に多くの時間を使います。また、土日には試合や遠征に参加し、実践練習を多く行っています。近年では、モンゴル国との友好を深めるための大会を、伊豆の国市内3つの道場が協力し12月に開催し、子ども達の国際交流にも力を入れています。

これからも、柔道を通し、仲間

と同じ目標に向かい頑張ること、教え合いや協力すること、健康な身体を作ること、困難を乗り越える力を育成することを目標に活動してきましたと考えています。



清水柔道倶楽部

- ②清水総合運動場武道館
静岡県静岡市清水区
清開2-2-1
- ③090-1824-5025
- ④遠田扶巳也
- ⑤小中学生10人

⑥道場紹介

静岡市清水区で活動しています。清水柔道倶楽部です。毎週火曜、木曜19:00〜21:00、土曜9:30〜12:00 or 18:00〜21:00の週3回活動をしており、主に小中学生が所属しており、現在10人と少ない人数で活動しておりますが、OBやOGが練習に来てくれたりする

など活気ある練習ができております。各個人が己の目標を持ち、目標に向かって努力していくこと、努力できるようにすることが何よりも大切だと思っております。試合で優勝することが目標である子、柔道を通じて多くの友人を作ることが目標の子、気弱な自分を変えることが目標の子など様々で全てとも素敵な目標です。それらの目標を達成できるようサポートしながら、厳しさと楽しさを両立してやっていけるよう工夫して指導していきたいと思っていますので、どうぞ清水柔道倶楽部をよろしく願います。



SHIMIZUJUDO

港柔道教室

- ②静岡県立清流館高校
- ③〒425-0051 焼津市田尻北1590-1
- ④鈴木 良
- ⑤現在小学生11名
中学生5名一般4名

⑥道場紹介

港柔道教室は、福村直先生が昭和62年に創立しました。当時は港小学校敷地内に武道場があり、多くの子供たちが今まで通っていました。

港柔道教室の「教室」は、福村先生が「学校の教室のように子供たちが多くのことを、柔道を通して柔道以外にも学べるような場所」と名前にしたと聞いています。

自分も子供の頃楽しく通った記憶があります。

現在もその方針を守りつつ、

子供たちを

取り巻く環

境・指導

法・柔道の

スタイルも

変わりつつ

中、子供た

ちが楽しく

通える環境

を日々模索

しながら取

り組んでい

ます。

これから



も、柔道が楽しく続けられる環境を提供していく団体でありたいと思っています。今後とも皆様よろしくお願ひします。

練武館

- ②〒431-1305 浜松市浜名区細江町気賀7196
浜松市立細江中学校内「練武館」
- ③(080)3286-3526(齋藤)
- ④齋藤修司 2名 名
- ⑤中学生 10名 名
- 小学生 6名 名
- 小児 6名 名
- 園児 6名 名
- 指導者 6名 名

⑥道場紹介

当道場は、明治28年11月引佐郡小野村(現・浜松市浜名区細江町小野)土族、白井雄太郎により創館され今年130周年目を向かえました。

創館当初は細江神社の境内に居を構え、現在の浜松市立気賀小学校バツクネット側に建物を建てました。

そして、解体・移築し細江町気賀呉石地区に昭和初年、旧道場を構えました。

当時は「練武会」の道場「練武館」という建物の名前でした。武術(柔術・剣術・棒術・槍術・薙刀)はもとより、「読み・書き・算術」など文武両道に秀でる若者を育てることを理念としていたと伝え聞いています。

昔の名残からか剣道の部も同

じ練武館として活動しており、剣道と柔道が同じ団体というのは魅力的だと思っています。

戦時下では、政府の武道禁止令により旧気賀町役場に貸し出していた時期もあり、終戦後の昭和23年GHQの武道解禁令により、活動を再開し、その際に講道館柔道を取り入れたということでもあります。

また、昭和44年には柔道・剣道ともに少年の部を創設し、今年55周年を向かえます。

また、大会も共同開催ということで柔剣道大会と銘打っております。

中学生・小学生・園児各世代18名が、現役門下生として居り25歳以下の2名と40代の4名とで指導をしております。

「やれないことではなく、やらない(気力がない)ことを注意識する」「あいさつ・返事は基本」を理念としており、指導者や上級生のお兄さんやお姉さんたちの行動を見習い、自分たちも下級生たちに受け渡していくという理想を胸に火曜日は19:00、20:30、土曜日は18:30、20:00までを稽古時間として汗を流しています。自主練習も21:00までできます。

そして、創始者である白井館長の地域に貢献できる人材の育成の理念もしっかりと受け継ぎ、150年・200年と続く道場にしたいと奮闘しております。



また、少人数だからこそできる遊びや勝つことだけが目標ではなく、勝ったほうがおもしろい好きになれる。

諺にもあるように、好きこそもの上手なれです。

柔道をもっと好きになって、そうすれば中学生になっても、高校生になっても、大人になっても柔道を楽しみながらずっと続けていけるはずですよ。

豊田柔道クラブ

- ② 磐田市立野200 (豊田南中学校)
- ③ 〒438-0824 磐田市赤池414-1 TEL0538-35-5268
- ④ 菊池直樹
- ⑤ 児童2名、小学生23名
中学生以上15名

⑥道場紹介

豊田柔道クラブは、今年で創立50周年を迎えました。現在、児童小学生25人、中学生一般15人の団員が所属しています。練

習は毎週火曜・金曜19時〜21時で元気に楽しく練習をしています。

柔道の鍛錬を通じて、柔道や運動の得意な子、不得意な子もそれぞれの良いところを伸ばすことを心がけ、その過程で基礎体力や精神力の向上をはかることはもちろん、努力の尊さ、礼節について学んでいき「礼儀正しく、仲間を大切に、何でも思いっきり頑張れる子」を目標に日々稽古に励んでおります。

今後も柔道が大好きな人が増えてくれるよう取り組んでいきますので、皆様のご指導ご協力よろしくお願ひします。



新人選手紹介コーナー

今年度好成績を収めた選手や指導された先生に、大会を振り返っていただきました。柔道に対するそれぞれの想いや、将来への展望などをご覧ください。

■第45回全国高校選手権大会 女子48kg級優勝

牧園 羽菜選手 (藤枝順心)

第45回全国高校選手権大会を 振り返って

藤枝順心高等学校 3年 牧園 羽菜



第45回全国高等学校選手権大会、ずっと目標としていた日本一を達成することが出来ました。3回戦目の

相手が第一シードの選手で、一番の山場だと思っていた。3回戦目以降は、体もほぐれ、落ち着いて試合をすることが出来ました。

決勝の相手は昨年の選手権で負けている相手で、苦手意識がありました。しかし、加賀谷先生の「10分でも20分でもやっこい」という言葉に気持ちも吹っ切れて、何分でも粘って勝つてこようと思えました。決勝は8分を超える試合になりましたが、最後は投げて勝つことができました。

優勝できたのは、指導して下さった先生方、一緒に稽古をしてくれた先輩方、仲間たち、支えてくれた両親、応援してくださった方々のおかげです。恵まれた環境で柔道ができることへの感謝を忘れず、大学やシニアの大会でも優勝して、日の丸を背負って世界でも活躍できる選手を目指します。

■第45回全国高校選手権大会を 振り返って

加賀谷 千保 (藤枝順心柔道部監督)

第45回全国高校選手権大会を 振り返って

藤枝順心高等学校 監督 加賀谷 千保



を妊娠していました。妊娠は望んでいませんでしたが、いつからか「妊娠さえていなければ、生徒と練習が出来るのに」と、非常にネガティブに考えるようになり、練習を休むことも増え、不安や生徒への申し訳なさや葛藤していました。

しかし、副顧問の須田先生や保護者の方々は、私をサポートしてくださいました。更に生徒たちは、キャプテンの牧園を中心に自立していきましました。

迎えた全国高校選手権では、48kg級で牧園が優勝、57kg級で小山が5位入賞を果たしてくれました。

働きながらの妊娠・出産・育児は非常に難しく、周りに理解されないと考えていました。しかし、実際は本校の関係者だけではなく、県の先生方も大変温かく支えてくださり、それらがネガティブなものからポジティブなものに変わりました。改めて静岡県で柔道に携われていることに感謝し、少しでも県に貢献できるように努めたいと感じました。

■第45回全国高校選手権大会 女子63kg級3位入賞

永田 りん子 (東海大翔洋)

第45回全国高校選手権大会を 振り返って

東海大学付属静岡翔洋高等学校 2年 永田 りん子



私は全国高等学校柔道選手権大会に出場し、良い経験をする

ことが出来ました。中学の時には3位という結果で終わってしまい、とても悔しい思いをしました。次こそは全国優勝したいという思いで望んだこの大会も3位という結果で終わってしまいました。全国優勝するために日々の練習に取り組み、辛い時も仲間と声をかけ合い、先生方にかけてもらい言葉に勇気や自信をもらいながら精進しています。だからこそ3位という結果で終わってしま

いと悔しかったです。それ以上にこの悔しい思いをまた次の全国大会に出場し全国優勝を目指したいという気持ちが大きくなりました。まだ自分の努力が足りないからこそ、1から頑張ろうと思えました。この大会に出て今後の柔道に対してプラスになる経験が出来たと感じました。全国制覇するために苦しい事や辛い練習、トレーニングがあります。助けてくれる仲間や声をかけてくれる先生方、

私のことを一番に応援してくれている家族のためにも頑張りたいと思います。中学、高校3位という悔しい結果で終わってしまった思いを忘れず高校最後は必ず全国優勝したいです。

第45回全国高校選手権大会を 振り返って

東海大学付属静岡翔洋高等学校 監督 古内 千夏



は、県大会団体戦での悔しさをそれぞれが個人戦で晴らし、精一杯頑張つて欲しいという思いでいました。本校からは52kg級小林、63kg級永田、無差別級中道の3選手が出場しました。個人戦での出場は選手の頑張りによってつかみ取る事が出来た。だからこそそれぞれが勝つても負けても、後悔しない試合にしてほしいと話しました。

その中で63kg級の永田りん子選手が3位という結果を出す事が出来ました。私の感想としては一戦一戦負ける気のしない堂々とした戦いで安心してみている事が出来ました。中学生での全国3位から、もう一つ上の順位へと目標を持ち頑張ってきた成果だと思います。準決勝での敗退は、力の差を感じました。決勝まで上がることの難しさや日本一になることの難しさを改めて感じた試合だったと思います。私以上に本人は悔しさを

を感じ次のステージへと突き進んでくれると思っています。今後の活躍にも期待しています。



令和5年度インターハイ
男子100kg級3位入賞

沖山 智選手 (静岡学園)

令和5年度インターハイを
振り返って

3年 沖山 智

静岡学園高等学校



北海道で行われた全国総合柔道大会の100kg級に出場しました。日本一だけ

を目指してきましたが、悔しくも、3位という結果で幕を閉じました。初戦は、山口県代表の高川学園の選手と戦いました。相手は1回戦を勝ち抜いてきており、私は初戦だったという事もあり、体が思うように動かず、苦戦を強いられましたが、隙を見せずに練習で毎日行っている寝技を生かして、勝つことができました。3回戦は福島県代表の田村高校の選手と戦いました。初戦で苦戦して勝利した分、気持ちが上がってきて、だんだんと良いイメージが湧いてくるようになり、開始30秒ほど得意の小外刈りで一本勝ちを収めました。準々決勝は京都府代表の京都文教高校の選手と戦いました。昨年のインターハイ

では準々決勝で敗れており、より一層気持ちを引き締めて挑みました。初戦と同様、とても苦戦を強いられましたが、しっかりと寝技で決め切り、勝つことができました。準決勝では北海道代表の北海高校の選手と戦いました。相手は、他の大会でも好成績を収めており、試合前から警戒していた相手でした。相手は技のキレが凄まじく、対策できないほどでした。試合序盤は、技の掛け合いで、ポイントは取れませんでした。しかし開始1分30秒程で、足技でポイントを先取しました。ポイントを取った瞬間、「いける。」と思いました。そこから自分では自覚はありませんが、攻めの柔道から守りの柔道になってしまい、気持ちがネガティブになってしまいました。ポイントを取った直後に消極的な指導を受け、その後に、相手が仕掛けた大内刈りで、逆転負けをしました。

何度試合の映像を見ても、「なんで守ったのか、なんで、攻めなかったのか。」と、今でも悔しい気持ちでいっぱいです。全国3位で満足せずに、大卒でも日本一、また、世界でも活躍できるように、日々の練習に全力を注いでいきたいと思えます。

沖山智インターハイ
3位入賞について

高田 博文 (静岡学園柔道部コーチ)



去る8月10日、北海道立総合体育センターにおいて全国高校総体(個人の部)が開催され、本校の沖山智が100kg級に出場し、3位入賞という成績を収めました。私はもちろんのこと、本人も優勝を目指して挑んだ大会でしたので、悔しい気持ちが残りました。

沖山は朝早くから道場で自主的にトレーニングをし、稽古中の1本の打ち込みにも熱心に取り組み姿勢は後輩達の見本となり、強くなりたい気持ちが伝わってきます。いま自分に足りない力・テクニクは何かを分析できるため、日々の稽古やトレーニングに工夫が見られます。勉強においても懸命に取り組み、後輩の模範となっています。

後輩達から好かれる沖山は部員全員からも応援される存在であります。そんな沖山が全国大会の準決勝戦で堂々と戦う姿は、後輩達の目に焼きついたこととです。私も遅く感じました。高校生活では3位という結果でしたが、次のステージでは更なる活躍と自身の夢を達成することを期待しております。

国際舞台で活躍するアスリート
第6回 Virtus グローバルゲームズ
柔道部門 山崎 真江選手が
女子・63kg級金メダル獲得!

Virtus グローバルゲームズとは、Virtus (国際的障害者スポーツ連盟) が主催し、4年ごとに開催される国際大会。陸上、水泳、卓球、空手、自転車など、多くの競技種目があり、柔道が開催されたのは今回が初めて。その記念すべき大会にID柔道全山崎真江選手が、全柔連ID協議会より全柔連ID柔道強化選手として推薦され見事優勝、金メダルを獲得した。カテゴリーは通常の柔道競技と同じ男女それぞれ7階級があり、さらに障害の度合いにより3種別に分けられている。また、安全最優先であることから奥襟を掴むことは禁止、投げた勢いで相手に乗ってしまうのも禁止など、全柔連少年規定にも増して厳しいルールの制約がある。また初回とあつ



やまざき まえ 山崎 真江

2003年9月28日生まれ
女子式段・63kg級 療育程度・B
全柔連C指導員資格取得
兄の影響で小学1年のころから柔道を始め、中学校時代に初段を取得するも、知的障害の認定を受け特別支援学校高等部へ進学。この間もしずおかスポーツクラブ加藤茂先生の下、大好きな柔道を続け現在に至る。

(広報委員 植田 秀)

柔道家紹介



大村花さん

静岡新聞社 社会部 大村花さん
昨年(令和5年)8月、静岡新聞の朝刊に珍しく柔道の記事が載った。柔道といえば県大会や全国大会などの記事は時折スポーツ欄で目にすることもあるが、社会面のしかも見開きの中央に二つの記事が同時に掲載されたことは世にも稀な出来事だ。左面にはご存知フランス五輪出場を決めた静岡県出身の橋本選手の記事。今回注目したいのは右面に載った静岡県柔道協会主催の女性柔道交流会の記事だ。柔道をスポーツとしてだけでなく、交流を深めるコミュニケーションの場としての活動に着目した記事。奇しくもこの日の社会面は柔道色の濃い紙面となった。



4日間シリーズで掲載された記事



女性柔道交流会の記事

それから3ヶ月後、今度はなんと4日間連続「町道場のいま」変わる柔道界」と題してシリーズで柔道に関する記事が掲載された。しかも前回同様社会面の好位置に…。こんなに柔道の話題が事件以外で社会面に掲載さ

れたことは記憶にない。これら連の記事を取材し、広く世間に知らしめた新聞記者とは…。若干25歳(令和5年12月現在)の女性柔道家、大村花女子参段である。高知県出身で二見華奢な印象ながら小学6年生の時には全国小学生学年別柔道大会(2022年廃止)にも出場した強者。関西学院大学を卒業後関西の上場企業に就職するも、新聞記者の憧れが拭えず再就職活動、たまたま記者を募集していた静岡新聞社に再就職した。縁もゆかりもない静岡の地で最初に行動したのは道場探し。新型コロナ禍で柔道再開は数ヶ月後となったが、小学生から始めた柔道はほぼ途切れることなく続けている。少子化にコロナ禍、運動部離れなど、ますます競技人口が減る中で、柔道の話題を社会面で目にする機会が増えたことは世間に向けて影響力も大きいだろう。我々柔道関係者としては今後も記事に取り上げてもらえるような話題性のある活動を提供していきたいと思う。

(広報委員 植田秀)

編集後記

★今年度も多くの方々のご助力により、「柔道しずおか」第26号を刊行できました。この場を借りて御礼申し上げます。

★令和6年正月早々から、能登半島大地震や羽田空港での旅客機と自衛隊機の接触・炎上といった事故が起きました。特に能登半島大地震では、震度7といった未曾有の揺れが起こりました。被災された方々は日常生活を取り戻せない現状に苦慮していると聞き及んでいます。お見舞いを申し上げるとともに、一刻も早い復旧・復興をお祈りいたします。

★過日、外国からの旅行者に対して、柔道の稽古をコンテンツとしたツアーの計画とあったニュースをネットで見ました。筑波大学と連携して茨城県観光課が模索しているとの記事でしたが、新たな試みとして興味がかれました。★柔道人口のみならず様々なスポーツで競技人口の減少に苦慮している日本社会です。

が、柔道の魅力を発信し続ける努力は大切です。武道は、その精神性も重視されるものであり、単なる勝負だけではないと考えます。

★その気持ちを常に忘れず、多くの柔道家たちは精進しているものと思います。日本発の魅力満載の柔道を、先ずは足下から広げていきたいものです。

(広報委員長 増尾清己)

